



獅子舞奉納、伝統の舞で観衆を魅了

砥川神社の例大祭を盛大に開催

約400年の歴史を持つ砥川神社の例大祭が行われ、勇壮な獅子舞が奉納されました。

拝殿で神事が行われた後、雄獅子と雌獅子一対の獅子を先頭に笛、太鼓、「釣り子」と呼ばれる男女の幼児らが拝殿を一周。境内の舞台へと進み、獅子と釣り子の掛け合いが披露されました。

世話役の岡野賢一さん(中砥川)は「周囲に住宅が増えたため大掛かりな花火は今年が最後の予定。いつも以上に気合を入れて祭りに臨みました」と話しました。



獅子の上に釣り子がまたがり、舞台を練り歩く



パソコンは一人一台ずつあり、集中できる環境が整っていた

ICTを活用し「未来の学校」を創る

飯野小学校公開授業研究会

飯野小学校で10月22日、ICTを活用した授業が一般公開され、県内の教職員や保護者、地域住民が授業の様子を見学に訪れました。

ICTとは「情報通信技術」の略称で、授業にタブレットパソコンや電子黒板などを導入し、子どもたちの思考力や表現力の育成を目指すというもの。3、6年生のクラスで行われた公開授業では、手慣れた様子でパソコンを操作する子どもたちの姿に、訪れた人たちは熱心な視線を送っていました。

町や企業、住民一体で地下水を守る

地下水湛水事業に係る合同協定調印式

熊本市で10月19日、「益城町金山川下流域及び大津町真木地区における湛水事業に係る合同協定調印式」が行われ、出席したくまもと地下水財団、企業、各自治体などが協定書に調印しました。

町民の生活や企業活動を支えている地下水の恩恵を享受し続けるため、町と企業、住民が一体となって湛水事業を推進する目的で協定を結びました。

西村町長は「地下水を次世代に引き継ぐことが私たちの使命。協定締結は大変意義がある」と話しました。



地下水財団や企業などが参加し、滞りなく調印が行われた

Best Smile
今月のベスト笑顔

